

令和7年度（2025年度）

管理事業名	高齢者生きがい事業				総合計画 の体系	大綱 3	福祉・健康			
						政策 1	高齢者の暮らしを支えるまちづくり			
						施策 1	生きがいづくりと社会参加の促進			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	3	民生費	(項)	1	社会福祉費	(目)	3	老人福祉費
部局名	福祉部	予算執行 所属	高齢福祉室							
事業の目的と概要										
(1) 目的										
高齢期を迎えても生きがいをもって、地域で健康に暮らすことができるよう、生涯学習やスポーツなどを通じた生きがいづくりの活動や就労、地域活動などの社会参加への支援を進める。										
(2) 概要										
・高齢者の生きがいづくり及び福祉の増進を図るため、高齢クラブ・地区敬老行事運営委員会等の活動を支援する。										
・高齢者生きがい活動センター、高齢者いきいの家、高齢者いきいの間等の施設を運営する。										

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	指 標 の 定 義
高齢者生きがい活動センター講座 開催回数	回	273	268	290	高齢者生きがい活動センターの講座 年間開催回数
シルバー人材センター会員数	人	1,983	1,962	1,969	(公社)吹田市シルバー人材センターの年間延会員数

II 活動実績・成果

【成果指標1】高齢者生きがい活動センター講座 開催回数についての評価 ・高齢者生きがい活動センターについて、講座の開催回数は昨年度に比べ22回増加し、高齢者の教養向上等に積極的に取り組むことができた。その結果、年間利用者数は49,532人となり昨年度から3,111人増加した。 【成果指標2】シルバー人材センター会員数についての評価 ・シルバー人材センターの会員数は、昨年度から微増したものの例年と同程度になっている。入会説明会や会員の研修会等を積極的に行い、高齢者の社会参画の促進、会員の技術向上が図られた。 【財務情報に基づいた評価】 ・経常費用の約2億8千万円のうち、物件費が33.5%、負担金・補助金・交付金等が29.0%、給与関係費が19.4%を占めており、物件費の主なものは、高齢者関係団体用福祉バス貸付料22,778千円、高齢者いきいの家指定管理料17,048千円、高齢者生きがい活動センター指定管理料13,411千円、負担金・補助金・交付金等の主なものは、地区敬老行事補助金48,949千円、吹田市シルバー人材センター運営補助金16,329千円、吹田市高齢クラブ活動補助金8,340千円となっている。 ・施設の老朽化により、建物の老朽化比率は62.9%と昨年の60.9%から2.0ポイント上回っている。		
--	--	--

III 課題と今後の取組

高齢者生きがい活動センター講座、シルバー人材センターの活動については、高齢者の生きがいづくり、社会参画の促進等の取組を進める。 施設の老朽化については、限りある財源で計画的かつ効果的に維持補修を行うため、修繕や備品更新を計画立てて行っている。しかしながら、既存施設の老朽化に伴う費用は今後も増加するものと考えており、より効率的・効果的に維持補修を行っていく必要がある。	また、今後も高齢化と市民ニーズの多様化に伴い、経常費用は増加するものと考えられることから、引き続き、費用対効果の検証と正確な市民ニーズの把握に努め、持続可能かつ市民満足度の高い事業実施となるよう事業の在り方を検討していく必要がある。
--	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位:千円)

勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	24,142	27,631	3,489
未収金	-	-	-	地方債	3,635	5,944	2,309
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	3,344	4,524	1,180
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	1,362,806	1,358,263	△4,543	その他流動負債	17,164	17,164	-
土地	910,935	910,935	-	固定負債	190,115	200,298	10,184
建物・工作物	450,790	429,783	△21,006	地方債	59,573	75,828	16,256
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	1,081	17,545	16,463	退職手当引当金	27,561	38,652	11,091
無形固定資産	202	179	△23	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	102,981	85,818	△17,164
土地	-	-	-	負債の部合計	214,257	227,930	13,673
建物・工作物	-	-	-	純資産	1,148,750	1,130,512	△18,239
建設仮勘定	-	-	-	地方債	-	-	-
重要物品	-	-	-	長期借入金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	退職手当引当金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
出資金	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	1,363,008	1,358,441	△4,566
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	1,363,008	1,358,441	△4,566				

◆行政コスト計算書【PL】

(単位:千円)

勘定科目	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	3,580	3,413	3,121	△292
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	868	1,550	-	△1,550
その他	1,304	1,286	1,380	94
経常収入 小計(a)	5,751	6,249	4,501	△1,747
給与関係費	36,950	39,687	53,775	14,088
物件費	75,297	85,254	92,598	7,344
維持補修費	36,017	11,251	3,491	△7,760
社会保障扶助費	350	200	120	△80
負担金・補助金・交付金等	84,862	83,561	80,299	△3,261
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	25,542	26,207	26,626	419
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,829	3,344	4,524	1,180
退職手当引当金繰入額	1,887	4,195	12,642	8,446
支払利息	2,539	2,249	2,408	159
その他	-	2,052	-	△2,052
経常費用 小計(b)	266,274	258,000	276,482	18,482
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△260,523	△251,752	△271,981	△20,230
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△260,523	△251,752	△271,981	△20,230
一般財源充当額	260,521	237,774	253,296	15,522
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△2	△13,978	△18,685	△4,707

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位:千円)

区分	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	5,751	6,249	4,501	△1,747
行政サービス活動支出	240,113	227,274	237,586	10,312
行政サービス活動収支差額	△234,362	△221,025	△233,084	△12,059
投資活動収入	-	10,000	-	△10,000
投資活動支出	6,691	47,454	21,613	△25,841
投資活動収支差額	△6,691	△37,454	△21,613	15,841
財務活動収入	-	41,500	22,200	△19,300
財務活動支出	19,468	20,795	20,798	4
財務活動収支差額	△19,468	20,705	1,402	△19,304
収支差額 合計	△260,521	△237,774	△253,296	△15,522
一般財源充当額	260,521	237,774	253,296	15,522
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	各施設の減価償却による減
【BS】 建設仮勘定	吹一地区高齢者いこいの間の新築建替えに係る 工事前払金による増 16,426千円
【PL】 給与関係費	事業従事人数の増による給与関係費の増

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
65歳以上高齢者1人	コスト 2,927 円 実績 90,949 人	2,830 円 91,144 人	3,019 円 91,591 人
	コスト 円	円	円
	実績		
分析内容	令和8年3月31日現在の吹田市65歳以上人口で算出し、令和7年度は1人あたり、3,019円のコストがかかっている。		

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	64,235	1,016	5.80
会計年度任用等	6,664		
特別職非常勤	42		
合計	70,940		

分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		61.4	60.9	62.9	2.0
施設維持補修費比率		3.3	1.0	0.3	△0.7
経常費用対公共資産比率		24.1	22.4	23.8	1.4
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		97.8	80.5	90.5	10.0